

2 現状の課題

- 地区公民館の管理運営に関する業務が市長部局に補助執行されたことにより、基幹公民館の設置目的が不明確となった。
- 基幹公民館と教育委員会分室が、それぞれの立場で同一の地域（旧町村を単位とした地域）を対象に事業を実施していることにより、地域住民からみるとそれぞれの役割等が不明確となっている。
- 地域住民の文化の向上と福祉の増進の観点で、公共施設をより有効に活用するニーズが広がる中で、基幹公民館は営利を目的とした事業等に利用することはできない（社会教育法第23条）。

など

3 位置付けの見直し

① 条例上の位置付けについて

地域の様々なイベント等でより一層利活用が可能な施設とするため、基幹公民館を、現在の『鳥取市公民館条例』から『鳥取市コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例』に基づく施設に移管することを基本とする。

※コミュニティ施設：地域住民の文化の向上と福祉の増進に寄与することを目的に設置している施設

② 実施事業について

現在、基幹公民館が実施している事業は、全て教育委員会分室の事業とすることを基本とする。

③ 職員配置について

基幹公民館の嘱託職員を分室職員とする。（実質の職員数・体制は変更しない。）

4 今後の予定

- H27.10 各地域の地域振興会議で意見交換
- H27.11 各教育委員会分室で方針を検討
関係条例の改正準備
- H28.2 平成28年2月議会に関係条例を提案
- H28.4 基幹公民館の位置付け変更

国府町総合支所庁舎 視察メモまとめ

○執務室(執務室、受付スペース、待合スペース)

| | |
|--------|---|
| 執務室 | <ul style="list-style-type: none"> ・明るく基本的な用件の対応ができるのが良い ・机間が狭く人の出入り、通行が窮屈に感じる→広く余裕のある配置にするのが良い |
| 受付スペース | <ul style="list-style-type: none"> ・少し狭い気がする(待合スペース含む) ・明るく子ども(未就学児)～お年寄りにもやさしいスペースがほしい →椅子、絵本等の設置(待合スペース含む) |
| 待合スペース | <ul style="list-style-type: none"> ・机はいらない? ・もう少し欲しい |
| 総評 | <ul style="list-style-type: none"> ・合理的な配置だと思う ・各課がワンフロアに入っているのは良い ・特に狭い感じはしなかった |

○倉庫(書庫、倉庫)

| | |
|-------|---|
| 書庫・倉庫 | <ul style="list-style-type: none"> ・見ていないのでよくわからない ・別棟にあり(旧庁舎＝支所)にまだ残っている→保存するものを確定し処分すればよいと思う ・できれば別棟でない方が良い ・十分なスペースと思われる |
|-------|---|

○諸室(会議室、相談室、印刷室、守衛室、休憩室、トイレ等)

| | |
|-----|--|
| 相談室 | <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーが守れて良いと思う→窓口では話しにくい事もあると思う ・防音 ・会議室以外に設けてあるのは良いことだ ・相談室を確保されていたが必要だと思う ・相談室は執務をする所より離してほしいと思う |
| トイレ | <ul style="list-style-type: none"> ・洋式(ウォシュレット)、障がい者とあって良い ・広く明るくゆったりした方が良い ・女子トイレの洋式は狭い |
| 総評 | <ul style="list-style-type: none"> ・各室とも機能的配置がしてあり内容が充実していた ・コンパクトにまとめられている ・授乳コーナーが設置されていたが必要だと思う ・来客者が用のある窓口付近に待合コーナーがあっても良いと思う |

○通路等(玄関、廊下、階段、エレベーター)

| | |
|--------|---|
| 廊下 | <ul style="list-style-type: none"> ・2階暗い。特に検診室など自然光がほしい→明るい庁舎にしてほしい ・雨の日でも滑らない通路(廊下)、床であってほしい |
| エレベーター | <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子等などでも移動できる ・フラット対応などぜひ必要 ・検診時(週2回)しか稼働していないが、車椅子等障がい者にも対応できるので設置があればよい |
| 総評 | <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化は未だ ・完全バリアフリー化を望む ・点字ブロックと車椅子の共存は難しい ・点字ブロック(1階のみ)、手すりはある? ・障がい者の方に必要なものを事前に聞きとってはどうか(一般的なものではなく) |

○防災(災害対策スペース、備蓄倉庫、防災無線室、通信室)

| | |
|--------|--|
| 総 評 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明上防災無線などの活用が今一つに感じた→守衛室に備えているのは使用していない ・あまりしてないように感じた ・緊急対応ができる設備をきちんと備える ・自家発電、貯水槽なし ・自家発電機は必要。2F以上に据えつける(洪水対策) ・防犯カメラ |
|--------|--|

○その他、気付いたこと

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場は広く十分なスペースがあった ・職員の駐車スペースが近くで良い ・ワンフロアが効率的であることが実感できた ・各課の表示が高すぎて気付かなかった ・全体としてコンパクトにまとめられている。窮屈な感じがしたが人口規模や利用状況からすると適当なのかもしれない ・全体に事務所は広いスペースが良いと思う。ロビー待合室など住民がゆったりできる場としてほしい ○○を示す写真 ・バリアフリー、省エネ対応 ・別棟に地域交流館がありボランティア団体が利用(ギャラリーが設置できればよい)→河原にも是非ほしい ・交流会館は不要 ・駐車場スペース ・視察の前にメモの抽出の説明があればもっと真剣に視察できたと思う ・来客者に便利な配置、職員にも使い易く便利が良く速やかに動く事の出来るようにしてほしいと思う |
|--|

| | |
|--|-------------|
| | 計 画 部 |
| | 4 科 長 |
| | 課 長 |

| | |
|--|--------|
| | 課 長 |
| | 課 長 |
| | 課 長 |

鳥取市創生総合戦略策定に係る地域振興会議委員からの意見等対応

H27.9.28

I 次世代の鳥取市を担う'ひとづくり'
意見内容

| No. | 意見内容 | 戦略への位置づけ | 備考 |
|---------------------|---|----------------------|--|
| 教育の充実・郷土愛の醸成 | | | |
| 1 | 子どもたちへの情操教育、趣味・自然、農業を生かしたまちづくりをしてほしい | 郷土愛を育む教育の推進 | |
| 2 | 地域と保育園、学校との連携を行政がエスコートしてほしい | 郷土愛を育む教育の推進 | |
| 3 | 幼少中一貫校など特色ある取組はぜひ戦略に盛り込むべき | 次世代を見据えた特色ある教育の推進 | |
| 4 | 小中学校の段階で地域間交流を積極的に行える施策が必要 | 郷土愛を育む教育の推進 | |
| 5 | 国際化ということで、中学校・高等学校において留学コースや留学制度があればよい。 | 次世代を見据えた特色ある教育の推進 | |
| 6 | 定住する留学生を呼び込んでどうか。 | 次世代を見据えた特色ある教育の推進 | |
| 7 | 若者が出ていかない、外に目が向かない、そんな教育を高校などと連携して取り組んでほしいか。 | 次世代を見据えた特色ある教育の推進 | 高校での教育については県教委の対応等を踏まえ、本市の役割等検討 |
| 結婚・出産・子育て支援 | | | |
| 8 | 晩婚化の改善に取り組むことが出生率の向上につながるもので、一体的に取り組んでほしい | 新たな出会いの創出と結婚支援 | |
| 9 | 子育て支援の充実に向けた切った予算を使ってほしい | 待機児童ゼロの継続と子育てサービスの充実 | |
| 10 | 人口増加が必要。出会いの場が必要。もっと力をいれてほしい。 | 新たな出会いの創出と結婚支援 | |
| 11 | 市の職員の未婚率はどれくらいか。市職員の状況くらいは把握しておいたほうがよいのでは？ 昔が、旧鳥取市の近くに家を建てて出て行ってしまった。 | | 個人的な問題でもあり、困難な部分もあるが、婚活サポートセンターの活用など促す |
| 12 | 3人目の保育料無償化もよいが、1人目からの支援がほしい。 | | どのような支援ができるか、財源、国・県の制度等含め検討が必要 |
| 13 | 高校生までの医療費無償化はぜひしてほしい。 | 待機児童ゼロの継続と子育てサービスの充実 | |
| 14 | 婚活サポートについて、農業者にスポーツをあてた取組を行ってほしい。 | 新たな出会いの創出と結婚支援 | |

II 誰もが活躍できる'しごとづくり'

| No. | 意見内容 | 戦略への位置づけ | 備考 |
|-----------------------|---|--------------------------------------|----|
| 地域経済の再生と産業の底上げ | | | |
| 15 | 企業誘致ばかりしているも失敗がある。失敗する前に手を打つことが必要。 | 工業の振興 | |
| 16 | 雇用創造の目標について、正規雇用ということに主にしてはどうか。 | 基本目標 正規雇用5,000人以上 | |
| 17 | 鳥取市は企業誘致に力を入れているが、失敗例もある。河原工業団地・布袋工業団地においても失敗するかもしれないという危険を持っている。 | 工業の振興 | |
| 18 | 鳥取は所得が低い。居住環境の支援など定住しやすい環境づくりを進めていくべき | 講ずべき施策に関する基本的方向・市民の所得向上、正規雇用拡大、賃金引上げ | |
| 19 | 地元産業、特に第1次産業の強化・生活支援が必要 | 農林水産業の振興 | |
| 20 | 第1次産業の活性化と生産単面向上、後継者育成に向けた取組を充実してほしい | 農林水産業の振興 | |
| 21 | 「大規模農家」とあるが、鳥取市の農家のほとんどは小規模農家であり、小規模農家への施策も必要ではないか。 | 農林水産業の振興、新規創業者・就農等の充実 | |
| 22 | 鳥獣被害対策では、猟師を100人育成とかでもよいのではないか | 農林水産業の振興 | |
| 23 | 鳥獣被害対策が必要。若手が不足しているので、資格取得を積極的に行える取組を進めてほしい。 | 農林水産業の振興 | |
| 24 | 6次産業化の取組を進めてほしい。鳥取ならではの取組を一緒に考えてほしい。 | 農林水産業の振興 | |
| 人材確保と育成強化 | | | |
| 25 | 60歳以上の知的財産を有効に活用し、ものづくりがひと、しごとに活かせる仕組みづくり | 人材の確保、育成の推進 | |

III 賑わいにあふれ安心して暮らせる'まちづくり'

| No. | 意見内容 | 戦略への位置づけ | 備考 |
|----------------------|---|--------------------------------|---------------------|
| ふるさと・いなが回帰の促進 | | | |
| 26 | 情報発信と受入体制の充実がしっかりとリンクする仕組みが必要 | 人材誘致・ふるさと回帰の充実/田舎暮らし環境の充実 | |
| 27 | 移住してきて出ていく人もいる。定住できない理由を追究した方がよい。 | 人材誘致・ふるさと回帰の充実/田舎暮らし環境の充実 | |
| 28 | 空き家の管理は各地域主導ではなく市が能動的に行ってほしい。 | 田舎暮らし環境の充実 | |
| 交流人口の拡大 | | | |
| 29 | 芸術家を目指す支援体制に力を入れ、伝統工芸の繁栄に取り組みべき | 文化芸術を生かした個性あるまちづくりの推進 | |
| 30 | 外国人観光客も東京一極集中しているとおもう。外国人観光客にも来てもらいたい。 | 滞在型観光の推進 | |
| 31 | 入館者が減っているようなので、砂の美術館の充実を積極的に進めてほしい。 | 滞在型観光の推進 | |
| 32 | 鳥取市内での宿泊率が向上する取組を行ってほしい。 | 滞在型観光の推進 | |
| 33 | たくさん観光客に来てもらえるよう力を入れてもらいたい。 | 滞在型観光の推進 | |
| 住み良い環境づくり | | | |
| 34 | 中山間地域における買い物支援の充実に取り組んでほしい | 魅力ある中山間地域の振興 | |
| 35 | 中山間地域における公共交通の維持・確保の重要性を再認識してほしい | 利便性の高い公共交通の確保 | |
| 36 | 中山間地域の振興に取り組んでほしい。 | 魅力ある中山間地域の振興 | |
| 37 | 古民家が大切にされていないと感じる。財産になると思うので力を入れてほしい。 | 魅力ある中山間地域の振興 | 所有者の意向、専門家の意見等踏まえ検討 |
| 38 | 辺地を大事にする施策が必要。辺地に光が当たると感じる。特に環境整備をしてほしい。 | 魅力ある中山間地域の振興 | |
| 39 | まちづくり協議会に何でも下すのではなく、行政も支援などしっかりと役割を担った体制づくりが必要。 | 多様な・コンパクトな都市環境を生かした安全なまちづくりの推進 | |
| 40 | 地域の特性を生かし、思い切った居住地域の誘導策を進めてほしい。 | 多様な・コンパクトな都市環境を生かした安全なまちづくりの推進 | |

鳥取市創生総合戦略全般について

| | | | |
|----|----------------------------|--|--|
| 41 | 鳥取市として特色のあるもの(ビジョン)を作ってほしい | | 1市8町村が合併し、市域が広がり、それぞれの地域の特色を生かした、まちづくりを進めていくことは、鳥取市らしさの一つと考えます |
|----|----------------------------|--|--|

鳥取市ファシリティマネジメント公開講演会

第7回



講師紹介
千葉県流山市
総務部財産活用課
ファシリティマネジメント推進室
寺沢弘樹室長

2つのPPP（公民連携/自治体間連携）をキーワードに①先進自治体の事例を流山市の状況にあわせてアレンジし、②民間事業者とタイアップしながらシンプルに実践するFMを展開している。



公共施設の老朽化・更新問題に 自治体はどう立ち向かうか

流山市の第二世代の公共施設マネジメント



講演内容

1 流山市が進めるPPP（公民連携）

2 具体的な取り組み事例の紹介



取組報告

(市財産経営課)

公共施設の老朽化・更新問題とは

「鳥取市公共施設等総合管理計画（案）」について

日時 2015年10月21日 WED

14時～16時15分 **入場無料**

場所 とりぎん文化会館 第1会議室

(鳥取市尚徳町101番地5)

お申込み締切/10月20日(火)

FAX.0857-20-3879

下表にお名前等を記入の上、FAX送信ください

(駅南庁舎3階 鳥取市財産経営課)

| 所属/会社名 | お名前 |
|--------|-----|
| | |
| | |
| | |

いただいた個人情報は、他の目的には使用いたしません

主催：鳥取市

鳥取市では、将来に過度な負担をかけないため、**40年間で公共施設の29%（延床面積ベース）を縮減しつつ、公共サービスを維持・向上する『新しい公共施設経営』**に取り組んでいきます！

この取り組みを進めるためには、『**公民連携**』が大きなカギ。そのため、“**公共施設マネジメント**”に関する**公開講演会**を開催し、**市民・事業者の皆さまと理解を深めていきたいと考えています。**
皆さまのご来場をお待ちしています。

講師 流山市総務部財産活用課
ファシリティマネジメント推進室長
寺沢 弘樹 氏



《講師略歴》

静岡県出身。東京理科大学大学院理工学研究科建築学を修了し、2001年に千葉県流山市役所に入庁。

営繕業務、学校耐震化・公共施設保全計画策定業務等を担当し、2011年から総務部財産活用課にてファシリティマネジメントを担当。

2014年、ファシリティマネジメント推進室の創設より室長に就任。

（その間、流山市の取組は日本FM大賞の奨励賞を受賞）

- ・豊富な経験を踏まえた講演やセミナー、寄稿など多数。
- ・流山市の取り組みは、多くの出版物等で紹介されている。

会場アクセス

会場（座席数）の都合上、**講演会参加を希望される方は、事前にご連絡ください。**

問い合わせ先：鳥取市財産経営課

TEL：0857-20-3852

FAX：0857-20-3879

《平成27年10月20日（火）締切》



鳥取市では、国から策定要請を受けている『**公共施設等総合管理計画**』を年内に策定する予定です。

この計画(案)について、**市民政策コメント**を募集中です。
皆さまのご意見をお寄せください。

